

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標 1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により3件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延46人(実15人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
			実績値	0	4	3			
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	40	内訳 介護人材育成支援事業:3人、雇用創出事業:0人、看護学生修学資金貸与事業:24人 ・介護人材育成支援事業は、社会福祉法人に対し職員の資格取得費用を助成。実績値も前年度を上回り、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた当該法人による積極的な取り組みにつながっている。 ・雇用創出事業は、助成の対象となる施設の新設等がなく、雇用の助成が生じなかった。 ・看護学生修学資金貸与事業は、学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が当院に就職された。
			実績値	5	0	27			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 産業の競争力強化								
1) 農作物のブランド化の推進								
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 ／5戸(平成26年)→20戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	20	特裁米ゆめびりかが高価格であることも一つの要因として、特別栽培米の作付農家が平成28年度の11戸から16戸へ増加。 今後とも、当該補助制度を農業者へ周知し、特裁米作付農家の増加を図る。
		実績値	—	11	16			
2) 6次産業化の取り組みの推進								
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 ／2戸(平成26年)→5戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	5	農業者自ら、農産物の加工品販売を開始したことにより、2戸増となった。今後も、農業者へ、国・道の補助事業のほか、各種情報提供を行い、6次産業化の促進を図る。
		実績値	2	4	6			
3) 商工業振興策の実施								
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 ／5件(5年間)	目標値	1	1	1	1	1	新規創業が3件あり、そのうち空き建築物を活用した新規開店が2件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。
		実績値	4	6	2			
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 ／5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により3件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延46人(実15人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	0	4	3			
(2) 人材育成、雇用対策								
1) 農業の担い手の確保・育成								
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 ／15ha(5年間)	目標値	0	0	5	5	5	平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。基盤整備の要望はあることから、取り組みやすい補助メニューの調査検討が必要。
		実績値	11.58	7.61	0			
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 ／280ha(平成26年)→320ha(平成31年)	目標値	—	—	—	—	320	農業の担い手への農地の集積が進んだため、平成29年度の実績値は237haとなった。 現在、水稲の防除(農薬散布等)は浦臼町の無人ヘリコプター防除の組織へ委託しているが難しくなってきた。今後、JAと連携し、水稲の防除を担う受託組織の育成について検討を進める。
		実績値	295	261	237			
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 ／2人(5年間)	目標値	0	0	0	1	1	農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。
		実績値	1	0	0			
2) 医療従事者の確保・育成								
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 ／32人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	32	学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が当院に就職された。 今後の取り組みとしては、引き続き病院説明会などにおいて、学資金等の説明を行い安定確保に努める。
		実績値	—	—	24			
3) 介護従事者の確保・育成								
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	本年度の目標値である3人を達成した。研修費を補助することで、介護サービスの質の向上と人材育成・確保を目的に、事業所(社会福祉法人)の理解と積極的な取り組みがあった。今後も継続し介護人材の安定確保に努める。
		実績値	5	0	3			
4) 企業立地等の促進による就労の拡大								
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／25人(5年間)	目標値	5	5	5	5	5	本年度、助成の対象となる施設の新設等が2件あったため、次年度雇用に係る調査を行う。また、本年度条例改正を行い、植物工場を助成対象に加えたため、制度の周知を広く行い、施設の新設に繋げ新規雇用を推進する。
		実績値	0	0	0			
5) ICTを活用した子どもの育成								
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	440	育成事業の成果発表事業を拡大したため、前年度比360人参加者数が増大した。参加者が順調に拡大しているため、今後も継続して取り組む。
		実績値	425	526	886			
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進								
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 ／450人(平成31年) 地元高校から市内企業に就職した割合 ／65.4%(平成31年) 地元の参加企業数 ／15社(平成31年)	目標値	—	—	415	425	450	企業の人手不足は全道的な傾向であり、砂川市も同様の状況にあることが目標未達成の理由。企業の人づくりや学習機会の提供などの人材育成支援を継続して行う。 本事業は、高校1年生を対象にしているため、事業効果が現れるのは2年後となる。今後、事業を継続していくことで、効果が期待できる。 事業の認知度と事業効果が高まっていることから、参加企業が増えた。更に、事業周知を行い参加企業の増加を目指す。
		実績値	—	—	367			
		目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	
		実績値	—	—	30.0			
		目標値	—	—	—	—	15	
		実績値	—	17	35			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	150	昨年同様、転出者数の増加が収まり昨年同程度で推移し、転入者が僅かに増加したため、転出超過数も減少傾向にある。
			実績値	111	57	47			
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1,342	ハイウェイオアシス館がリニューアルし、産直市場や新しいレストランがオープンしたことにより入込客数が218千人増加となったが、北海道こどもの国の入込客数が20千人減少となった。
			実績値	1,234	1,209	1,413			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進								
1) 移住定住の促進								
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	0	0	2	2	2	平成29年度のお試しハウス利用は延14組31人であったが、移住者は0人であった。継続して情報発信、お試し暮らし等の事業を実施しているが、結果に結びつかなかった。次年度は移住希望者のニーズが高い就業分野の情報提供の充実を図る。
		実績値	0	6	0			
農業体験事業	新規就農者数 ／5人(5年間)	目標値	—	0	1	2	2	平成29年度は、砂川市に縁のある者が、砂川市に移住し就農したことから2名増となった。今後も、新規就農者の募集を行うとともに、関係機関との受入体制の強化を図る。
		実績値	—	0	2			
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加								
1) 観光振興の推進								
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	354,000	今年度は順調に実績値が伸びており、TVや本でじゃらんに掲載したことや「充電しませんか」などマスメディアに砂川が紹介されたことでアクセス件数が増え、実績値の増に繋がった。ただ、29年度にセキュリティクラウドの導入で自治体からのアクセスが減っていると見られるため、引き続きアクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持し、更新をこまめに行っていくなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	318,484	314,737	324,651			
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	スマートインターチェンジが開設してから2年以上経過し徐々に浸透が図られているため観光客数が増加している。今後は砂川のブランド力を向上させ、観光客を呼び込む体制の整備を図る。
		実績値	235	220	261			
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	19,500	市HP、雑誌(じゃらん等)、観光パンフ等の配布等でPRを図ったことから目標値を超えることとなった。今後とも観光協会との連携を図り、フリーWi-Fiのアクセスポイントを増やすとともに、HPの更新等を進め、情報発信を充実させる。
		実績値	—	915	77,810			
	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	スマートインターチェンジが開設してから2年以上経過し徐々に浸透が図られているため観光客数が増加している。今後は砂川のブランド力を向上させ、観光客を呼び込む体制の整備を図る。
		実績値	—	220	261			
	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	1,342	ハイウェイオアシス館がリニューアルし、産直市場や新しいレストランがオープンしたこと、またスマートインターチェンジが開設してから2年以上経過し徐々に浸透が図られているため観光客数が増加している。今後は砂川のブランド力を向上させ、観光客を呼び込む体制の整備を図る。
		実績値	—	—	1,413			
	スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	1,800	観光振興を進めるうえで、スイートロード協議会や観光協会、商工会議所、建設協会など、様々な団体と市が連携し事業を進めることで、参加者の理解を深め参加人数の増加に繋がった。今後は、砂川のブランド力を向上させ、観光客を呼び込む体制の整備を図る。
		実績値	—	—	1,683			
	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／5,000件(5年間) [平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	ふるさと納税全体の件数が昨年度より減少しているため実績値が減少しているが、スイートロードの知名度をより向上させ、今後も「ふるさと名物」制度も活用しより幅広いPRを図る。
		実績値	1,235	874	719			
	DMO加盟団体数 ／10団体(平成31年) [平成27・28年度:着地型観光プラットホーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	10	本年度、滝川砂川着地型観光推進協議会を設立し事業を開始した。今後DMO設立に向けて、準備を進める。
		実績値	0	0	13			
(3) 高等学校の活性化								
1) 地元学校への進学促進								
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→120人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	120	目標値には達しなかったが、前年から大幅に入学者数が増加した一因として、支援の浸透が考えられる。生徒アンケートの実施による効果の検証を行うとともに、支援を拡大して継続することにより、入学者数の増加を図る。 (追加する支援) ・生徒募集に対する支援 ・対話型学習プログラム授業補助金
		実績値	100	88	112			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	目標値	80	80	80	80	80	年度によって届出件数にばらつきはあるものの、直近5年中、最も低い届出件数となっている。
			実績値	64	77	56			
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1.54	平成29年の出生数は84人で若干減少している。単年での評価は難しいが、28年と比較すると出産可能な女性人口が20～34歳で34人、35～44歳で29人減少していた。ただ、年齢別での出生率をみると、25～29歳で若干増加している。
			実績値	1.17	1.20	1.14			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援								
1) 婚活支援の推進								
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(平成31年)	目標値	2	—	—	—	5	前年度に続き、2事業に補助金を利用した婚活事業数となった。新たな団体に実施に向けた交渉を行ったが実現には至らなかった。引き続き、実施が期待できそうな団体の模索・交渉を行っていく必要がある。
		実績値	2	2	2			
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援								
1) 妊娠・出産への支援の実施								
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(平成31年)	目標値	800	800	800	800	800	妊婦届出数が93名、転入者20名と増加し、使用延件数が増加した。妊婦の経済的負担を軽減する為、今後も継続する。
		実績値	498	631	717			
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(平成31年)	目標値	70	70	70	70	70	実績値は目標値を下回った。今年度申請者実6名にアンケートを行い、4名から回答を得、1名は大いに満足と回答され、3名は不満と回答しており、全員がさらなる助成拡大を望んでいた。次年度以降も継続しながら今後の検討課題としていく。
		実績値	85.7	80.0	25.0			
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(平成31年)	目標値	75	80	85	90	90	マザークラスへの参加は、初妊婦で37.3%となった。就労者が多くなかなか参加につながらない現状はあるが、助成を継続するとともに、妊婦訪問など個別支援の充実を図っていく。乳児全戸訪問は、転出や長期里帰りなどにより96.5%となったが、母との面接や電話にて状況を確認し、必要な支援を行った。
		実績値	80.2	79.4	74.3			
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(平成31年)	目標値	30	30	30	30	30	実績値は計画値を上回った。しかし、事業の利用状況は、平成27年度1件、平成28年度0件、平成29年度は4件となっている。さらに利用しやすい環境を整えるため、平成30年度より利用料を全額助成する。
		実績値	29.9	39.5	35.0			
2) 子ども・子育て支援の充実								
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90	開設から1年が経過し、ある程度周知が図られたことにより、登録数は70人で延べ利用人数は131人であった。30年度から昼食の提供を開始し、子どもにとっての安全安心な環境整備を図るとともに、利用基準を緩和するなど、保護者の利便性を高め子育てと就労の両立を支援する。
		実績値	—	—	86.0			
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／750組(5年間)	目標値	150	150	150	150	150	今年度も計画値に満たなかった。年々減少が続いており、PR不足も考えられる。魅力ある体験型企画を検討するほか、HPや広報での周知方法の改善や乳幼児健診等を活用したチラシ配布などにより、利用者の増加を図る。
		実績値	98	90	38			
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	900	1～3月まで保育士不足により利用制限をしたことで、前年から利用者は減少しているが、12月までの実績は多少増加している。また、今年度より4時間単位の短時間料金を設定したことで、徐々に短時間利用者が増加しているの、周知を図りながら、子育てのニーズに応えていく。
		実績値	384	413	356			
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(平成26年)→0人(平成31年)	目標値	0	—	—	—	0	学童登録数も前年と同程度で推移しており、引き続き待機児童もいない。30年度より北光小学校で放課後子ども教室が開設されるが、北光学童は唯一学校外に設置している学童であるため、事故等なく安心安全な運営を行っていくよう、より一層学校・教育委員会とも連携しながら、児童の健全育成を図る。
		実績値	0	0	0			
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減								
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	昨年と同じく0～2歳の低年齢で入所する世帯が多かったため、全体の入所者数が増加した。なお、平成30年度より、軽減分の補助算定額を当初保育料算定額から減額(歳入減)することとした。
		実績値	—	209	220			
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	幼稚園在籍者の割合が増加したため、目標値を上回った。本年度から砂川天使幼稚園が「子ども・子育て支援新制度」に基づく私立幼稚園に移行し本事業の奨励対象から外れたが、他の幼稚園については継続するため、引き続き、保育所との整合を図りながら保護者の経済的負担の軽減を図っていく。
		実績値	78.1	90.1	89.0			
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 ／83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	幼稚園在籍者の割合が増加したため、目標値を上回った。市内唯一の幼児教育施設である砂川天使幼稚園の利用機会を安定的に確保していくため、保護者の経済的負担の軽減を図っていく。
		実績値	—	—	89.0			
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	昨年と同じく0～2歳の低年齢で入所する世帯が多かったため、全体の入所者数が増加した。入所者数は増加しているが、保育士不足は喫緊の課題であり、安心して子どもを預けられる環境を整備するためにも、引き続き保育士の確保対策を図っていく。
		実績値	208	209	220			
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／189,000枚(5年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	計画値と実績値の差の主な理由は、平成29年度事業の構築時に見込んでいた出生数と転入者数の減。今後も社会福祉課と連携し、児童手当現況届提出の際に配付するなど、未申請世帯の減に取り組み、事業を継続する。
		実績値	38,530	36,510	34,170			
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→60%(平成31年)	目標値	—	—	—	60	60	未実施 (平成30年度より開始)
		実績値	—	—	—			
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→80%(平成31年)	目標値	—	—	—	70	80	未実施 (平成30年度より開始)
		実績値	—	—	—			
インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(平成31年)	目標値	30	35	40	45	50	昨年度に引き続き自己負担1,000円で実施し、目標値を上回る受診率を維持できている。今後も継続していく。
		実績値	48.4	49.0	49.0			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値に対する所見
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	目標値	77	77	77	77	77	持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92	81			
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	住宅供給4戸に対して全戸入居。(4世帯9人)
			実績値	—	100	100			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成29年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保								
1) 医療等の充実								
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(平成31年)	目標値	6	0	0	0	0	計画値と実績値の増減なし。 平成28年7月に稼働し、平成29年度以降、自治体病院以外の医療機関等との連携及び各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。
		実績値	6	0	0			
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／41,000件(5年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	開始から3年半が経過し、事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に増加している。また、医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も大幅に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	469	11,107	15,745			
2) 健康維持・増進の推進								
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(平成31年)	目標値	34	42	42	45	45	乳幼児健診、がん計画健診の受診率は横ばいで維持、国保特定健診の受診率は上がっているが、がん計画健診の勧奨対象が増えたことにより全体では実績が下がった。がん検診は受診率が低く、勧奨は今後も強化していく必要があるが、より効果的で趣向を凝らした勧奨方法について委託の方向も視野に入れて検討していく。(28年度確定の実績値37.1%)
		実績値	36.3	36.4	32.2			
3) 高齢者等の在宅生活の支援								
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)	目標値	132	132	132	132	132	本年度は目標値は下回ったが、大雪となり前年度より大幅な増となった。事業開始から3年目となり事業の周知が徐々に図られてきており、高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があったと判断していることから継続実施とする。
		実績値	52	8	85			
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)	目標値	100	100	59	58	58	前年度の実績より減少しているが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活の確保につながっているため、今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。
		実績値	95	92	85			
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討								
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(平成31年)	目標値	—	—	—	—	2	計画値と実績値の増減なし。砂川駅にエレベーターおよび風除室の設置に向けてJRとの協議を進めながら計画案の具体化に向け検討中。
		実績値	0	0	0			
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化								
1) 良質な住宅ストックの確保								
まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)	目標値	35	35	35	35	35	前年度と比較して、実績値は減少しているが目標値は達成しており、今後においても、持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	50	43	35			
永く住まいる住宅改修助成金交付件数	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)	目標値	42	42	42	42	42	申請件数増。 リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業の見直し・拡充を行い継続する。
		実績値	45	49	46			
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)	目標値	0	5	5	5	5	住み替え支援を推進する係が新設され、住宅相談の総合窓口を開設したことにより情報提供件数が目標値よりも増加した。 次年度は、新たに創設された住み替え支援事業補助金のPRをしながら、より事業の推進を図るとともに、空き家の利活用を促進する。
		実績値	0	11	14			
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	住宅供給4戸に対して全戸入居中。(4世帯9人) 新たな供給計画はない。
		実績値	—	100	100			
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成								
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施								
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	3	滝川市との情報交換は引き続き行っているが、広域的な連携にまで展開できる状況には至らなかった。 引き続き情報交換を行いながら検討を進める。
		実績値	0	0	0			
中空知定住自立圏「しごと」の魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	—	0	2	2	2	吉本興業「住みます芸人」による市のPR映像を活用した東京での移住相談会を行い、延べ14組31人がお試しハウスの利用があったが、移住には結びつかなかった。 今後は、地元企業を知る機会の提供をとおして、移住者の確保に努める。
		実績値	—	6	0			
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保								
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり								